

すくらむ

かわさきの男女共同参画情報誌

約12人に1人
詳細は中面で！

無料



がん体験を啓発活動につなぐ

認定 NPO 法人乳房健康研究会 ピンクリボンアドバイザー上級 栗橋 登志 さん

約 12 人に 1 人とは？ 数字でみる乳がんの現状

vol.
61
2018.10

<https://www.scrum21.or.jp/>

がん体験を 啓発活動へつなぐ

認定NPO 法人乳房健康研究会 ピンクリボンアドバイザー上級

栗橋 登志 さん



10月はピンクリボン月間（乳がん月間）です。ご自身の乳がん体験をもとに、「ピンクリボンアドバイザー」として精力的に乳がん検診啓発活動を行う栗橋登志さんにお話をうかがいました。警察官、会社役員としてのキャリアをヒントに、がん検診受診啓発の裾野を広げる栗橋さん。明るく！楽しく！たくましく！仕事もダブルケアも乳がんもパワフルに乗り切る原動力に迫ります。

圧倒的な男社会で 「にこにこバリバリ」働く

高校を卒業後、警察官になりました。当時、神奈川県警は14,000人中、女性警察官は550人しかいませんでした。女性警察官の採用が少なく、採用後も希望の職務につくため厳しい選抜があり、圧倒的な男社会でした。そのなかで「にこにこバリバリ」をモットーに奮闘しました。これは警察学校の教官の教え。どんなに大変なことでも笑顔で全力で取り組むこと。そうやっていれば認められる。どうせやんなきゃいけないことだったら、最初から「にこにこバリバリ」やりなさい。男女雇用機会均等法もなく、女性が社会でまだまだ活躍できていない時代。自分たちが踏み台になって、次の世代につないでいかないとはいけない。だから自分たちが絶対失敗してはいけない。与えられた仕事で絶対音を上げてはいけない。職種を問わず女性たちの間に、そんな暗黙の連帯感がありました。

ダブルケアで「もうダメ」と追い詰められて生まれた 仕事と介護の両立戦略！

警察官として10年間勤めた後、姑の介護のため結婚を機に退職。介護に加え初めての育児…今でいうダブルケア*状態が目回るほど忙しく、自分のことをかまっていられない毎日でした。その後、警察の非常勤職員として復職し、仕事と介護の両立の難しさに直面。姑は特別養護老人ホームに入りましたが、具合が悪くなる度に病院に入院していました。病院は病気の治療が中心。身の回りの世話は施設ほど手厚くなく、日常的なサポートが必要でした。仕事と育児と介護に追われ、「これじゃもうダメだ」と思ったとき、ふと「この病院に勤めれば良いんだ！」と思い付きました。そして、病院の関連事業を行っているため、その病院に日常的に出入りする会社に就職しました。

初めての民間企業では給与事務からスタート。仕事を任せてくれる民間企業の楽しさを実感しながら、ここでも「にこにこバリバリ」をモットーに仕事に没頭し25年余り。最終的には取締役になりました。

乳がんの発覚と闘病生活： 家族にもご近所にも助けられありがたかった

無料のクーポンが配られる前の時代、川崎市では40歳以上の偶数年に有料ではありましたが自己負担の少ない乳がん検診が受診できる制度の頃のことです。ある日たまたまスーパーで会った小学校時代の友人が、病気が見つかるのが怖くて婦人科検診に行けないと言うのです。当時勤めていた会社の法定検診しか受けていなかったの、一緒に行くことに。子宮頸がん検診と乳がん検診を受け、乳がんが発覚しました。48歳でした。

手術のために数日入院した後は、通院しながら化学療法と放射線治療を受け、自宅療養。薬が合わず副作用が強くて、苦むひどい様子を子どもたちにも見せてしまったので、入院できればよかったと思ったこともあります。具合が悪くて、家のことは全くできず、夫、子どもにそれぞれ家事の担当を割り振りました。近所の方の助けも本当にありがたかったです。子どもたちにシチューを冷凍して持ってきてくれたり、子どもが帰ってくる時間を見計らってフライを揚げて持ってきてくれたり。「牛乳は重くて買いに行けないでしょう」と、成長期の子どものために牛乳を買ってきてくださったこともありました。私をがん検診に誘ってくれた友人も、日常的なサポートをしてくれた人も同じ生活圏内に居住。自分の生活圏での人間関係は大事と痛感しました。

会社でのがん啓発： がん検診制度化は福利厚生でも経営戦略でもある

会社でがん啓発の様々な取り組みを行いました。自分の乳がん経験を社内報に記名記事で載せました。「みなさんそれぞれに大事な家庭があり、会社の大切な戦力です。がん検診に行きましょう。」そう呼びかけました。

そして、地方自治体のがん検診に行った人には自己負担分を会社で負担し、その日は特別休暇とする制度も作りました。地方自治体のがん検診の対象になるのはそれだけリスクのある年齢。40～60歳代が主戦力の会社でしたので、退職や休職による損失を考えると、がん検診受診による早期発見は会社にとってもメリットがあったのです。

近年、各所でも「がんと仕事の両立」に取り組まれています。そのあり方は100人100様。がんと仕事の両立と一口に言っても、社員それぞれ持っている背景が異なります。病状も、薬の副作用の出方も違う。家族構成だって違う。介護もあるし、子どものこと、転勤、孫の世話もあるかもしれない。職域も、責任の程度も違う。検診啓発に加え、100人100様の治療と生き方を支援する柔軟性も大切だと思います。

「もっと早く知っていたら…」 と悔しい思いが原動力。

がん休職から復職して8年後、会社は役員任期区切りの年で退職し、現在はボランティアで患者会や啓発活動が中心の生活です。自分が乳がん体験者の声を救われるべき人にお届けしたいと思ったのは、「何も知らなくて損した」と思ったからです。検診が大切だと知っていたら、もっと早くにがん

交通部の経験を活かして

『街頭広報風に』啓発しています！

交通部当時は…

おはようございます。こちらは“しんゆり警察”広報班です。交差点では信号の変わり目が特に危険です。

“待ちましょうハラハラドキドキ渡るより”

今では…

こちらはピンクリボン広報班です。健康管理ではあなた自身が主役です。

“受けましょう 乳がん検診！
ハラハラドキドキ過ごすより”

乳がん早期発見のためにご自身でできることがあります。
“いたしましょう セルフチェックを月1で”

*ダブルケアって知っていますか？

ダブルケアとは、育児と親・義親の介護を同時に行うことを指します。少子化と高齢化の同時進行、特に女性の晩婚化で出産年齢が高齢化したことが背景にあります。栗橋さんには、2018年6月、当センターの「川崎で輝く女性たち 女性が語るトークサロン」でダブルケアのご経験をお話いただきました。



乳がん検診啓発ユニット「Team でんと!」。イベント時に、楽しい漫談形式でピンクリボントークを行っています。



あさお区民祭でのブース出店。しんゆりりボンズハウスの仲間とふるん太くと。

が見つかったら、もっと少ない治療で、もっと少ない費用で済んだのに——。病気になる／ならないは仕方ないけれど、より早い発見・より少ない治療が叶わず悔しかった。だから、がんになる前の人たちに検診やセルフチェックの重要性をお伝えしたいと、特に啓発活動に力を入れています。

日本人の二人に一人ががんになる時代。辛かったがん経験を話す人も多くなかで、「どうせがんになるなら乳がん！」って思ってもらえるくらい、「みんなで楽しく、切り口を変えた活動を！」と、同じ考えを持つ仲間と取り組んでいます。病気にならなければ、こういう仲間にも出会えませんでした。

今とても楽しいですよ。怒られそうですが、得た病が乳がんによかったと思っています。

乳がん検診啓発活動で、悲しい思いをする人を減らしたい

ピンクリボンアドバイザーを2014年に取得しました。それまで検診の重要性を伝えたくても、医療者ではないため信頼されにくい部分がありました。試験を受けて資格がある、だからちゃんと正しく知識と検診をお伝えできます。それを繰り返すことで早期発見の重要性をより多くの人々に認識してもらえます。

啓発活動は医療者だけでなく、患者体験者、法人、行政、教育などが枠を超えて活動していくことが重要だと考えています。縦割りの垣根を取り払って啓発する意味は、警察官時代、交通部の経験から。私が警察官になった時から現在まで

の40年間で交通事故による死者は年間14,000人以上から3,000人台に減りました。今、乳がん患者で亡くなる方が年間約14,000人。私が乳がんの啓発活動をはじめた10年。乳がんもあと30年経てば、3,000人台に減らせるはず。「先生、絶対できます。無謀だとか言わないで。医療者だけでって言わないでください。」と、どんな偉い医師の先生にも言っています(笑)。交通事故は、学校教育で安全教室をやり、黄色い帽子と黄色いランドセルカバーを配り、テレビでも交通安全運動週間のCMを流し、みんなで知って、法律が厳しくなり、車の性能が良くなり、信号機もどんどんついて減らせたのだから。乳がんも、命を落としている人の家族や職場は辛い。そういう思いをする人を減らすため、みんなで取り組めばいいのです。科学的な根拠はありませんが、交通安全対策の実験が啓発活動の根幹を支えます。

乳がん検診受診啓発を学校教育に

これから力を入れていきたいのは学校教育です。文部科学省が2014年度に「がんの教育総合支援事業」を開始し、全国のモデル校でがん教育が展開されています。学校で講座をやらせてほしいと言っても何度も断られてきましたが、時代が変わりつつあります。私の所属する認定NPO法人乳房健康研究会では、ピンクリボンアドバイザーの中のがん体験者が講師として学校へ赴き、それぞれの体験をもとにお話できるよう準備を整えています。講師をつとめるピンクリボンア



すくらむ 21 クリスマスイベントのご案内

ほっと・はっと・シアター

～お子さんと一緒にミュージカルを楽しみましょう!～

親子で、家族で、“ほっと”出来る場所を。それでいて、何か“はっと”気づいてもらえれば…。そんな想いを込めて毎年クリスマスの時期に開催しているすくらむ 21 の「ほっと・はっと・シアター」。今年はどうな“ほっと”や“はっと”に出会えるのか。ぜひ、ご家族でお楽しみください。

ミュージカル

「オズの魔法使い」

12月15日(土)

14:00～15:00 (開場 13:30)

川崎市男女共同参画センター(すくらむ 21)
1F ホール

全席自由 500円

人気の「劇団みるき〜うえい」が2年ぶりに「ほっと・はっと・シアター」に帰ってきます。今年も、子どもはもちろん、大人も楽しめる! 不朽の名作ミュージカル「オズの魔法使い」を上演します。突然、不思議なオズの国に迷い込んだ少女ドロシー。さて、どんな冒険が待っているのか、どうぞお楽しみに! さあ、みんなで一緒に歌ってドロシーを応援しましょう!

入場券は、すくらむ 21 窓口にて販売

※発売時期等詳細はホームページでご案内します。

(当日券あり。座席を使用しない乳幼児は無料)



劇団みるき〜うえいが、生演奏とともにお届けするおとなから子どもまで楽しめるミュージカルです!



ドバイザーは、講演デビュー実践講座とがん教育ピンクリボン認定講師養成講座を受けます。実際ががん体験者の話を聞くことで、子どもたちに他人事ではなく自分事として考えてもらいたい。10年後、20年後にも思い出してもらえるような、心に残る授業をさせていただきたいと思っています。

みなさんへのメッセージ

～恥を恐れないで、新しい世界へチャレンジ～

みんなと仲良くやっていくのが一番!自分が困った時に助けてもらえるし、楽しいことにもお誘いできます。最近、ファッションモデルをやる機会がありました。自分には関係ないと思っていたけれど、ランウェイをとっても楽しむことができました。参加者のデザイナーさんが障がい者用の服が保険適用になるよう活動していて、議員会館でファッションショー計画なので、ピンクリボンの仲間も参加しないかと言ってくださったのです!自分は門外漢だと思わないで、チャンスがあればいろんなところでいろんなことをやってみると仲間が増えます。そうすることで活動の裾野がどんどん広がります。どうしても人は分かっていること/できることをしようとしてしまいます。そのほうが楽だし、実績も上がりやすいし、恥かくこともなく、つらい思いをすることもなく、批判を受けることもありません。だけど、チャンスがあったら何でもトライしてみると、思いがけない展開に発展し嬉しいですね。失敗した時はゴメンナサイと謝ります。60歳を前にして、まだまだ人生はチャレンジ「にこにこバリバリ」で張り切っちゃいます。

約 12 人に 1 人とは？

数字でみる
乳がんの現状

10月は、乳がん月間です。各地で、ピンクリボンを使った啓発キャンペーンが行われます。ここでは、乳がんの現状を数字でみてみましょう。

約 12 人に 1 人 (2015 年)

日本人女性の乳がん生涯罹患リスク
※アメリカ合衆国では約 8 人に 1 人
※イギリスでは約 8 人に 1 人

乳がんは、女性がかかるがんの第 1 位。もっとも患者数の多いがんです。生涯に乳がん罹患するリスクを調べたところ、日本では女性の約 12 人に 1 人の割合でかかることがわかっています。日本よりも乳がん患者の多いアメリカ合衆国では、女性の約 8 人に 1 人の割合です。

乳がん患者の増加は、世界的な傾向で、アメリカ合衆国やイギリスではマンモグラフィ検査の普及を国が進めた結果、罹患率は高いものの、死亡率は 1990 年から下がってきています。

約 8 万人 (2013 年)

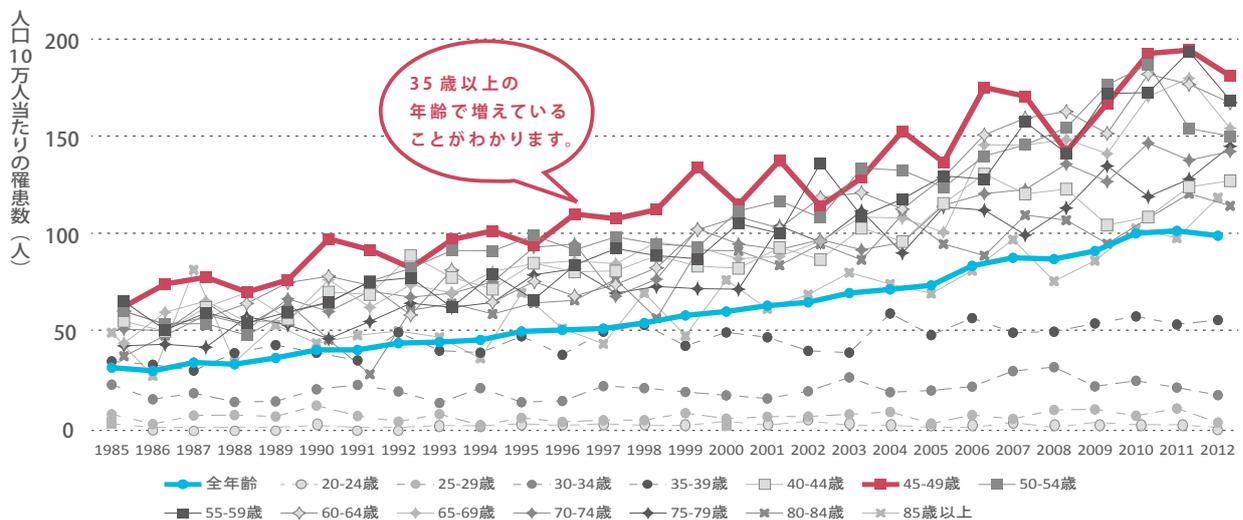
乳がん罹患数
(新たにがんにかかった人の数)

日本の乳がん罹患数は、1977 年からの 35 年間で約 7 倍になりました。2013 年には、約 8 万人が乳がんと診断されています。

乳がん罹患数の年次推移 (1985～2012 年)

約 30 年間で、全年齢で増加傾向ですが、特に、35 歳以上の年齢で増えていることがわかります。

5 歳階級別 乳がん罹患数の年次推移 (1985～2012 年)



注:がん情報「高精度地域がん登録のがん罹患データ(1985年～2012年)」をもとにグラフを作成。本データは、年次推移の検討を目的として、宮城・山形・福井・長崎の4県のデータを合わせて、実測値として集計したもの。これらの4県の地域がん登録は、長期的に登録精度が高く安定しているため、登録精度の変化が罹患率の増減に及ぼす影響が小さいと考えられる。また、主要な部位のがんの増減について、これら4県を合わせたデータの日本全体への代表性が確認されている。なお、宮城県のデータがシステム移行のため、山形・福井・長崎の3県のデータを合わせて実測値として集計したものを暫定的に用いている。これら3県のデータと4県のデータの相関は十分に高いことが確認されている。

参考文献等

- 木下貴之・田村研治監修『国立がん研究センターの乳がんの本』小学館 2018年
- 総務省『平成29年就業構造基本調査』
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200532&tstat=000001107875&tclass1=000001116995> (2018年9月15日取得)
- 厚生労働省『国民生活基礎調査(平成28年度)』
- 厚生労働省「低い日本の検診受診率」 http://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/campaign_30/outline/low.html (2018年9月5日取得)
- 国立がん研究センター「がん情報サービス」がんに関する統計データのダウンロード https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/dl/index.html (2018年8月28日取得)
- 国立がん研究センター「がん情報サービス」がん検診に関する統計データのダウンロード
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/dl_screening/index.html (2018年9月5日取得)
- 公益社団法人日本医師会「知っておきたいがん検診 乳がんとは?」 <https://www.med.or.jp/forest/gankenshin/type/breast/what/> (2018年9月13日取得)
- 有馬由里子「我が国の乳癌検診ガイドラインを検証する—欧米との比較 乳癌検診ガイドライン:英国の現状」日本乳癌検診学会『日本乳癌検診学会誌』23(1), 2014
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjabcs/23/1/23_7/_pdf (2018年9月13日取得)

45～49歳

乳がん罹患率が急増する年齢

乳がんのほかのがんは、60歳代から増え、高齢になるにつれて、増加します。ところが、乳がんは30歳くらいから増え始めて、45～49歳で急増します。そして、その後、高齢化に伴い減少するという特徴があります。

2013年のグラフを見ると、閉経後にも乳がんになる方も決して少なくありません。「閉経後だから自分は関係ない」と思わずに、定期的な検診受診が大切です。

就業構造基本調査(2017年)では、45～49歳女性の約4人に3人が「仕事あり」と回答しています。

つまり、仕事や子育て、介護など、たいへん忙しい毎日を送っている方が多く、ほかのがんと違って社会や家庭で働き盛りの時期にかかってしまうがんなのです。

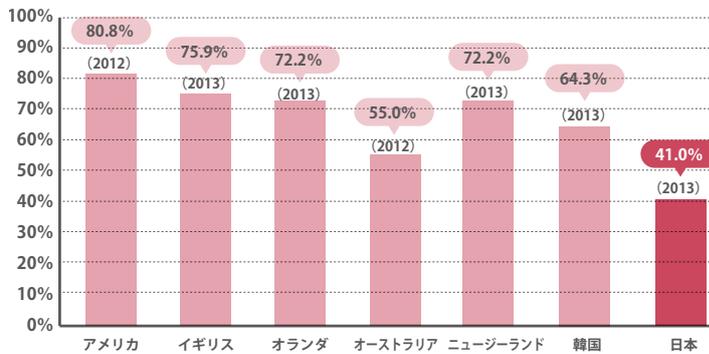
乳がんの年齢別罹患率(2013年)



注：がん情報「地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975年～2013年)」をもとにグラフを作成。

女性の乳がん検診受診割合(50-69歳)

OECD, OECD Health at a Glance 2018, Nov 2015 より



41.0% 日本(2013年)

低い日本の乳がん検診受診率
乳がん検診受診率(国際比較)

罹患率が増えているにもかかわらず、日本の乳がん検診受診率は、諸外国と比べて、非常に低いのが現状です。

45.7% 神奈川県(2016年) 乳がん検診受診率(都道府県比較)

都道府県別にみると、検診受診率は2013年から上がり45.7%になりました。

1位の山形県だけが60%超ですが、もっと多くの方が検診を受診するようになることが望まれます。

都道府県別乳がん検診受診率(40～69歳女性) 過去2年間の受診有無



注：国民生活基礎調査(2013年及び2016年)より作成。2016年調査は熊本県は実施なし。この調査の検診には、マンモグラフィーのほか超音波(エコー)等の検査方法も含まれる。



長期自宅避難時の食事 レシピ編～その時あなたは～

今年に入ってから6月には大阪で震度5強の地震、7月には西日本で大水害、そして9月の北海道地震と自然災害の恐ろしさを改めて実感させられました。特に西日本の大水害では、土砂が自宅の中まで覆い、長期にわたる避難生活を余儀なくされる状況です。避難直後は備蓄されている食品をそのまま封を開けて食べることで一定の満足感を得ることができますが、自宅以外の環境下での避難生活が続くと食事がとても重要になります。食べることは活力の源になり、心身に大きく影響を与えます。今回は、避難所や自宅で備蓄している食材を使った美味しいメニューを紹介します。備蓄品のリストに缶詰はいまや必須です。最近スーパーなどで売られている缶詰は種類も豊富で味も格段美味しくなっています。その中でもサバの缶詰を備蓄しているご家庭は多いかと思います。サバ缶は栄養価も高く、和食にも洋食にも合うのでバリエーションも広がりますよ。

どちらのレシピも「カセットコンロ」と「鍋1つ」で作れます。材料は家庭の常備品として大抵あるようなもの。いざという時のために、ご家庭の常備品からレシピを考えてみてはいかがでしょうか？

被災食レシピ① サバ缶ですいとん汁

材 料 サバの水煮缶、根菜類（玉ねぎ、人参、ジャガイモ等）、豆腐、小麦粉、味噌、お好みで油揚げやこんにゃく等を追加

調理のポイント

- ・豚汁を作る手順で豚肉の代わりにサバの水煮缶を使用。
- ・ビニール袋に豆腐と小麦粉を入れ、水分ですいとんのタネを作り、ビニール袋の先をハサミで切り、煮立った具材と汁の中に絞り出す。豆腐の水分で小麦粉がしっとりするので、水を使う必要がない。



被災食レシピ② サバ缶でハヤシライス

材 料 サバの水煮缶、玉ねぎ、トマトケチャップ、小麦粉

調理のポイント

- ・炒めた玉ねぎに小麦粉を入れて炒め、その後、サバの水煮缶とトマトケチャップを入れる。トマトケチャップの量はお好みで。

女性の視点で作るかわさき防災プロジェクト（通称：JKB）

行って、見て、知った～東京医大前抗議行動

14 すくらむコラム

東京医大が医学部の入学試験で女性受験者の得点を一律減点していた問題で、2018年8月3日、有志の呼びかけによる抗議行動に行ってみた。▼「夕方、抗議行動があるんだって」。知ったのはその日の午後だった。「行くの？」と知人に聞かれ、私は言葉を濁した。なぜか。正直に言う。行っても何も変わらない、そう思ったからだ。▼この問題の発覚以降、私は猛烈な虚無感に襲われた。何も好き好んで女に生まれてきたわけじゃないのに、なぜ女であるというだけで自由を制約されるのか。決めつけられるのは窮屈だ。自分の意思で選んで決めて、誰のせいにもせず納得して生きていたい。それなのになぜ「男は〇〇、女は〇〇」と決めつけたものの見方で排除するのか。しかも人の人生を大きく左右する局面でそのようなことをするのは卑怯だ。今回の入試差別はその最たるものだったと思う。▼20年ジェンダー問題を問うてきて、性差別の根深さは理解していたはずだった。でも今回露わになった差別の様相

は、想像をはるかに超えて根深く陰湿だった。差別は絶対になくならない。そうした落胆が、抗議行動へ行くことを思い留まらせた。▼「じゃあまた」。打合せが終わり帰ろうとした。するとどうだろう、自分の心が揺らいで仕方ない。家に帰ると言いながら東京医大はここから近いのかとルートを検索している。私はただ逡巡していた。行って何が変わるのか。▼乗車中その逡巡は続いた。最寄りの「新宿三丁目」に着いた。シューっとドアが開いた。一瞬ためらった。でも私は降りていた。そして大学に向かう途中で初めて気づいたのである。「あ、私は悔しいんだ」と。▼いつからこんなに物分りのいい大人になってしまったんだ。そう気がつき愕然とした。会場には「僕たちも正当に評価されていなかったんだ」と憤る男性もいた。そうか、変わらない社会を嘆くより自分の考えに自由になる方が、未来はずっと明るくなる。(し)

平成30年度協働事業 団体活動紹介！

すくらむ21では、毎年「男女共同参画協働事業」を実施しています。市民グループ・団体、NPO、事業者、研究者のみならずプロジェクトをご提案いただき、協働で企画・実施し、様々な分野で男女共同参画を進めています。平成30年度は7団体、子育てサロンから防災講座、パソコン講座まで、幅広いラインナップになりました。

日本ミクニヤ株式会社 HP <http://www.mikuniya.jp/>

あなたが地震や水害で被災して不安になった時、「きっと困っていると思って…」と心配してくれる人や安心して相談できる人がいたら、大変な時でも少し安心することができると思いませんか？これまで私たちはすくらむ21さんと一緒に、防災・減災に必要な知識や行動力を楽しく学んでもらう防災講話などを行ってききましたが、今回は「女性」



をキーワードに災害現場での体験や緩やかな防災ネットワークづくりなどの講話を企画しています。災害が起きた時に「あの時やっておけば…」と後悔しないために、私たちと一緒に、防災のことを考えてみませんか。

今年度の講座：第1回 10/23 火、第2回 11/16 金

パソコンサポートまうすナビ

ブログ <https://mousnavi.jimdo.com/> Facebook <https://www.facebook.com/mousnavi/>

民間のパソコンスクールで長年インストラクターとして経験を積んだ女性4人で始めました。IT弱者支援と女性の再就職支援を目的に多くの方にパソコンの楽しさと便利さを伝えたいと活動しています。2014年度からすくらむ21との協働事業として「再就職を希望する女性のためのパソコン講座」、ここ数年は「シニア世代へのパソコン講座」も開催しております。毎年、延べ



200人以上の方が利用され、再就職、転職、地域社会活動などに役立てていただいています。

今年度の講座：10/2 火、4 木、9 火、11 木、16 火、18 木、23 火、25 木、29 月、30 火、11/6 火、8 木、13 火、22 木、27 火

平成31年 1/17 木、18 金、22 火、24 木、29 火、31 木、2/5 火、7 木

* 6、7、9月分は開催済み。講座によって内容が異なります。

ウーマンネットアカデミー&コンサルティング

ブログ <https://www.womanetacademy.com> Facebook <https://www.facebook.com/womanetacademy/>

元IT企業勤務、ITを得意とする女性が集まり、IT活用で女性の社会復帰支援・起業支援をしています。在宅勤務、起業に必要なWEBマーケティングに特化したセミナーをパソコン操作と座学で提供しています。育児中の女性でも子連れ参加、保育サービスをご利用いただきながら学んでいただけます。最近のトレンドを押さえた、インスタグラムセミナー、ブログアフィリエイト、ラインスタンプ作成



講座、Wordでチラシ制作セミナーなど盛りだくさんの内容で今年も開催します。最終回では川崎地域で活躍する女性起業家に登壇いただくと同時にお仕事体験募集のお話もお聞きいただけます。

今年度の講座：第3回 10/15 月、第4回 11/16 金、第5回 12/7 金、第6回 平成31年 1/25 金

* 第1、2回は開催済み



BOOKS



2006年2月発行
 (著者) 金子雅臣
 (発行) 岩波書店
 (価格) 820円(+税)

『壊れる男たち セクハラはなぜ繰り返されるのか』

福田事務次官のセクハラ疑惑などの後、10年以上前に書かれたこの本が再び読み返されている。セクハラはなぜ繰り返されるのか。加害男性がなぜ自分のした行為に無自覚なのか。この点を問い、セクハラ防止の道筋を探る良書。企業内セクハラの実情を知る著者がみた男性加害者に共通する立ち振る舞いや折り合い方、浮足立つ原因をみていると、会社というアイデンティティを捨てて忠誠を誓う環境に過剰適応し、競争社会、成果主義の中で弱

みも見せずにやってきた男性たちの姿が見てとれる。しかし、時代は変わりつつある。彼らの戸惑い――“男性たちの崩壊”が、セクハラ加害の背景のひとつと著者はいう。男性に与えられていた優位性という鎧が崩れ去った時、彼らはアイデンティティをどこに求めるのか。セクハラは単なる男女という「個人の問題」ではない。企業の体質改善、働き方、人権の問題としていく必要がある。そう考えさせる一冊だ。



2018年3月発行
 (著者) ハルノ晴
 (発行) 双葉社
 (価格) 600円(+税)

『あなたがしてくれなくても 1』

過去1カ月にセックスレス状態にある夫婦の割合は47.2%――。この数字は一般社団法人家族計画研究センターが2016年に行った「男女の生活と意識に関する調査」の結果だ。約2人に1人が該当する。今回紹介する作品も「セックスレス」がテーマ。「夫がしてくれない。でも不倫したいわけじゃない。」というキャッチコピーに思わず息を呑んだ夫婦も少なくないのでは？夫婦仲は別に悪くないけれ

どセックスレスは克服したい。でも求めれば求めるほどすれ違う男女の心模様が切ない。“一緒にいるのにひとりぼっちじゃん”。でも夫以外の異性を求めても心の乾きは治らない。読んでいると、この満たされなさや男性性・女性性へのこだわりからきているようにも思える。なぜ人は結婚にこだわるのか？現在2巻まで刊行。続刊にも期待したい。



DVD

『BIUTIFUL ビューティフル』

双極性障害の妻とは別居。移民や不法滞在者たちへの職の斡旋を生業に、子ども2人を育てる男性が、ある日末期がんで余命2ヶ月と宣告される。日に日に悪くなる体調。押し寄せる死への恐怖。それを隠し残された時間を愛する子どもたちに捧げる。子どもたちのために情緒不安定の妻と再び生活を始める。裏社会に手を染め子どもたちに残すお金をそっとベッド脇の引き出しに蓄える。死を前にした彼なりの静かでまっすぐな愛情表現だったのだろう。

「ビューティフルってどう書くの？」と娘に聞かれて薄暗がりのなか教えたスベル違いの“BIUTIFUL”もそれを象徴している。物事は善悪で片付けられるほど単純ではない。不条理の中で自分にとって何を第一としていくか……男性の視点から、夫婦や子育てへの関わりが透けてみえる作品だ。主人公のハビエル・バルデムも名演。



2012年公開スペイン・メキシコ合作 / 148分 / DVD
 BIUTIFUL ビューティフル DVD 好評発売中
 発売元：ファントム・フィルム 販売元：アミューズソフト 価格：3,800円+税
 © 2010 MENAGE ATROZ S. de R.L. de C.V., MOD PRODUCCIONES, S.L. & IKIRU FILMS S.L.



となりのパパ、どうしてる？

イクメン研究所 パパ研究員の日ごろの子育て風景をご紹介します。
笑いあり、涙あり、育児、家事、パートナーシップ、時間のつかい方など…
身近な情報をお届けします。

Vol.2 パパたちの育休エピソード

2017年の日本人男性の育児休業取得率は5.14%（2018年5月厚生労働省発表。2日～3日の短期の取得も含む）。「うちの会社には育休の制度がない」なんて誤解もまだまだあるようです。育休をとるとどんな発見があるのか。イクメン研究所のパパたちが育休を取ったときのエピソードを紹介いたします。

「第2子で思い切ってとった育休」

私の育休取得は、長男が2歳半の時期で、妻が第2子の妊娠中で切迫流産の恐れがあって里帰り入院していたときのことでした。「手は足りているから大丈夫」と言われましたが、妻の両親からは賛成してもらい、妻の実家に居候させてもらって、長男とともに1週間の育休を楽しみました。ただし、犬の散歩中に長男が側溝に落ちてケガをしたことがあり、妻からは「余計なことをするから」と言われてしまいました（苦笑）。

「子どもの誕生を機に働き方も生き方も見直した」

出産予定日の1週間前に過労と持病が悪化、出産間近のママが夜中に車かっ飛ばして緊急搬送してくれ、助かりました。結果的には、病欠と育休合わせて子どもの出産前後で1か月ほどは休んでいたと思います。体を壊した原因をよくよく考えて、自分らしい働き方を目指し転職を経て、現在は独立開業。家族と共に“今”を惜しみなく楽しみ、自らの価値観を信じて、心身を磨いて日々輝く努力ができるゆとりを持ったワークスタイルに移行しました。

「1ヶ月健診前まさかの緊急出動」

無事第1子出産を終えたある日のこと。夕食の材料の買出しから帰るとおなかが痛いとうずくまるママの姿が。生後20日でまさかのママ救急搬送。お互い実家が遠方で預けることも叶わず、おでかけの準備も心の準備もまるでなく、とにかく荷物をバッグに詰め込み、わが子をタオルに包んで出発。ママは大事には至らず検査後そのまま帰れることになったものの、待っている間、あると思ひ込んでいたお湯をもらえず結局5時間ほどミルクを我慢させることに。いつだって何かあるかわからないから準備は万全に、を思い知った一件でした。

平成30年度イクメン研究所 10～2月の主な予定

いずれもお子さまと一緒に参加可もしくは保育付き。内容は変更になる可能性があります。
最新情報はすくらむ21 ホームページにて。

2018年	10月13日	パパトーク～パパ同士で子育てについて情報交換しよう～
	10月28日	“夫婦 de 子育て”を120%楽しもう!～ミニ講演会とまとめの会～
	12月未定	どこでもできる手遊び
2019年	1月未定	フリー企画
	2月3日	ポジティブ両立セミナー&交流会

相談事業のご紹介

すくらむ 21 では、女性のための総合相談（電話相談・面接相談）と男性のための電話相談を開設しています。夫婦・家族、こころとからだ、人間関係の悩みは時間と共に変化するもの。ひとりで悩まず、まずはお気軽にお電話ください。

Q これまでに寄せられた相談から〈Bさん・女性〉夫からの経済的な制限に悩んでいます。
夫と小学生の子の三人暮らしです。夫は、結婚当初からお金に細かく、すべての生活費を管理しています。先日、数年ぶりに友人から食事の誘いをうけたのですが、夫が認めた分しかお金をもらえないので、言い出しにくくてけっきょく我慢することに…。最近、子どもからも手が離れ、パートをして少しは自由に使えるお金がほしいと夫に相談しましたが、「家事がおろそかになるに決まっている!」と相手にされません。お金や時間を制限される生活に毎日が息苦しいです。

A 長い間、日々の生活に息苦しさを感じていらっしゃるのですね。今までよく頑張ってこられたと思います。あなたのように、生活費は受け取っていても、使い途を厳しく制限されて自由に使えるお金がない、または仕事をして収入を得ることを許されない、そのような行為は経済的な暴力といわれているDV（ドメスティック・バイオレンス）のひとつです。経済的締めつけは行動制限にもつながります。どんな理由があろうと暴力は許されません。本来あなたが望むパートナーとの関係と現在の暮らしを一度整理して、今のあなたが今後どう生きたいのか、どのような生活をしたいのか一緒に考えてみましょう。
※実際の相談では、相談者の安全に配慮してこれまでの経緯や出来事をお伺いしながら、必要であれば状況に応じた情報提供等もしています。

※内閣府が 2017 年に実施した「男女間における暴力に関する調査」によると、女性の 10 人に 1 人が、配偶者から経済的圧迫を受けたことがあると回答しています。http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/h29_boryoku_cyoua.html

女性のための総合相談 ☎ 044-811-8600

電話相談

日曜日 12:00 ~ 17:00、月~木曜日 10:00 ~ 15:00、
金曜日 15:00 ~ 20:00（土、祝日及び年末年始はお休み）

面接相談

①女性の悩み相談 ②女性弁護士による法律相談
まずはお電話でご相談ください。



男性のための電話相談 ☎ 044-814-1080 水曜日 18:00 ~ 21:00（祝日及び年末年始はお休み）

川崎市男女共同参画センター（すくらむ 21）改修工事のお知らせ

すくらむ 21 では、建築から 44 年が経過し皆様に安全かつ快適に施設を御利用いただけるよう長寿命化工事のための外壁等の改修工事を行う予定です。工事期間中は騒音・振動等の発生が想定されるため、次のとおり一部施設について利用を休止させていただきます。利用者の皆様には御不便をおかけしますが、御理解・御協力のほど、よろしくお願い致します。

●工事期間：平成 31（2019）年 11 月～平成 32（2020）年 5 月末（予定）

●工事による貸室の利用可能時期

部屋	時間帯	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
ホール	平日の午前・午後	×	×	○ ※2	○ ※2	○ ※2	○ ※2
	土日祝、平日の夜間	× ※1	× ※1	○	○	○	○
第4研修室	平日の午前・午後	×	×	×	×	×	○ ※2
	土日祝、平日の夜間	×	×	×	×	×	○
多目的室	平日の午前・午後	× ※3	× ※3	× ※3	× ※3	○ ※2	○ ※2
	土日祝、平日の夜間	○	○	○	○	○	○
その他貸室	平日の午前・午後	○ ※2	○ ※2	○ ※2	○ ※2	○ ※2	○ ※2
	土日祝、平日の夜間	○	○	○	○	○	○

※1
12月・1月につきましては舞台吊物の交換工事の実施があり、安全上の観点より終日利用不可とします。12月は8日までは利用可能です。

※2
工事により一定の騒音が発生します。ご了承の上ご利用ください。

※3
多目的室側の壁のタイルを補修する為、騒音により使用が困難と予想されますので、利用不可とします。

かわさきの男女共同参画情報誌

すくらむ

発行年月 平成 30（2018）年 10 月
編集・発行 川崎市男女共同参画センター（すくらむ 21）
所在地 〒 213-0001
川崎市高津区溝口 2 丁目 20 番 1 号
ホームページ <https://www.scrum21.or.jp/>
電話 044-813-0808
FAX 044-813-0864

読者アンケートにご協力ください。
QR コードはこちら

